

陳情書



令和7年10月 / 日

件名

成長期にある子どもたちの健全な育成のための学校給食の改善について

大阪狭山市議会議長 松井 康祐 様

陳情者 住所 池尻中3丁目31-20
TEL [REDACTED]
氏名 松田敦正 (まつだあつまさ)

1. 陳情の趣旨

現在提供されている学校給食について、量が極めて少なく、子どもの成長に必要な栄養と食育の観点から深刻な問題があるため、早急な改善を強く求めます。

2. 現状と問題点

現在、本市の子どもたちが食べている給食は、その量が十分とは言えず、見た目にも大変乏しいものです。

これは、成長期にある子どもたちの心身の健全な発達を阻害するだけでなく、食に対する興味や感謝の心を育む「食育」の機会を損なうものです。

実際に、給食センターや教育委員会にこの問題を訴えたところ、「国が定める学校給食摂取基準のカロリーは満たしている」という理由で、要望は受け入れられませんでした。

揚げ物があれば、少ない量でカロリー条件だけ容易に満たすことになります。

しかし、学校給食は単にカロリーを摂取するだけの場ではありません。

「食育基本法」にもあるように、子どもたちが食を通じて生きる上での基本を学び、感謝の心や社会性を育む重要な役割を担っています。

近年、福岡市の小学校で「唐揚げ1個」の給食が「質素すぎる」「量が少ない」と大きな社会問題になったことは記憶に新しいかと思えます。

同市教育委員会は当初、本市と同様にカロリー基準を満たしていると主張しましたが、世論やメディアの批判を受け、最終的に給食の改善に至りました。

この福岡市の事例と、本市の給食の現状を比較すると、その深刻さが明らかになります。

別紙写真1をご覧ください。

これは「唐揚げ1個」で炎上した福岡県の給食です。

これと、本市がHPで公開した別紙写真2の「6月の揚げ餃子2個の給食見本」を見比べてください。

差がないどころか、見る人によっては本市の給食のほうがより貧弱に見えるという声さえ聞かれます。

更に、別紙写真 3 は本市が市 HP で公開した 9 月の給食写真です。
別紙写真 4 は、当日中学 3 年生に実際に配膳された給食です。
市が公開している写真よりも実際の給食のほうの量が少ないことがわかります。
特に、成長期にある中学生ともなれば、これだけの量では到底満腹にはならず、むしろ空腹感や不満を募らせる結果となり、学校生活への集中力低下にもつながりかねません。

3. 求める改善策

「見た目」「味」「量」は、食育においてカロリーと同様に重要な要素です。
子どもたちが「今日も給食が楽しみだ」と感じられるような、豊かで充実した給食こそが、心身ともに健やかな成長を促します。

つきましては、下記項目について、早急な改善を強く求めます。

給食の量の見直し

成長期にある子どもたちの必要量を満たすよう、給食の量を増やすこと。
特に、中学生の給食については、小学校よりも多くの量を配膳すること。

主菜の充実

唐揚げや揚げ餃子といった主菜の数を増やす、または大きさを見直すこと。

食育の観点からの改善

カロリー基準だけでなく、見た目の豊かさや食材の多様性にも配慮した献立を検討すること。

4. 結び

子どもたちの健やかな成長は、本市の未来を築く上で最も重要な財産です。
私たちは、子どもたちが空腹を抱えたまま学校生活を送ることを望みません。

この陳情書が、本市の学校給食に対する真摯な議論のきっかけとなり、早急な改善が図られることを切に願います。

以上

別紙



写真1 福岡市 給食



写真2 本市 HP 掲載 6月給食



写真3 本市 HP 掲載 9月給食



写真4 中学3年生 実際の給食